

令和6年9月20日

地域連携プロジェクト 通信 第1号

東京都立七生特別支援学校長
黒澤 一慶



帝京大学との教育連携で、 特別支援教育の情報を発信しよう！

昨年度本校では、教育活動を通じた地域資源及び外部人材との連携による教育の推進と特別支援教育への理解啓発の推進をねらいとした取り組みを行いました。今年度は、昨年度の活動を基に「高等部作業班地域連携プロジェクト」に取り組んでいます。今回は、流通サービス班を中心に実施した「帝京大学との教育連携で、特別支援教育の情報を発信しよう」について御紹介します。

本取り組みでは、「帝京大学八王子キャンパス構内での作業製品販売活動を通し、生徒の言語能力の学びの向上を図る」と、「作業製品の販売を通して、特別支援教育の理解啓発の推進」をねらいとし、帝京大学の御協力のもと、高等部の作業製品販売の運営をしました。

作業製品の販売では、高等部のクラフト班やリサイクル班の製品、食品加工班のクッキーや新製品のマフィン、レインボーカフェのコーヒー等を販売しました。販売ブースには多くの学生が来店し、それぞれの作業班が作った製品に大変興味をもってもらい、大盛況でした。初めて参加した高等部2年生は、一生懸命に製品の説明をしたり、お客様にすすんで関わろうとしたりする姿が見られました。また、自分たちから呼び込みや商品の補充など、必要な仕事を見つけ積極的に運営に携わろうとする姿も見られました。2年目となった高等部3年生は安定した仕事ぶりで1年間の成長を感じることができました。



帝京大学の中村准教授とその学生さんたちには色々な面でサポートしていただきました。



今回も多くの方に来ていただきました！



呼び込みもがんばりました！
声をかけて来店して下さる方もいて
嬉しかったです。

製品を提供したクラフト班、食品加工班、リサイクル班の生徒たちも自分たちの作った製品が
たくさんの方々に売れたことから、自信をもって作業学習に取り組む姿が見られるようになり
ました。帝京大学の皆様、御協力ありがとうございました！

